

## 海外投融資情報財団(JOI)について

海外投融資情報財団(JOI)は、我が国企業の海外直接投資の動向、海外におけるエネルギー・インフラ・資源開発、新興国の投資環境とビジネス機会等に関する情報を、当財団が主催するセミナー、調査研究、機関誌やウェブサイトを通して、会員企業および一般の皆さまに提供します。かかる活動を通して会員相互の情報の交流、ネットワーク拡大を図り、我が国企業の海外直接投資・国際ビジネスの促進に寄与します。

**設立** 平成3年12月16日(大蔵大臣認可):国際協力銀行(当時、日本輸出入銀行)・商社・製造業企業、公益事業会社、金融機関等170社の出捐により設立  
平成22年11月1日(一般財団法人移行)

**会員** 本邦主要メーカー、建設・エンジニアリング会社、商社、通信・電力・ガス会社、金融機関、内外弁護士事務所、会計事務所、コンサルティング会社、各国大使館等 約200先(平成26年7月現在)

### 会員制度(賛助会員)のご案内

当財団会員にご入会いただきますと、以下のサービスを受けることができます。

- (1) 当財団が主催、後援、協力するセミナー(年間70件程度)へのご招待(無料)
  - (2) 会員と当財団によるセミナー共催
  - (3) 機関誌「海外投融資」(隔月発行)の無料配布、当財団ウェブサイトに掲載する機関誌記事の閲覧・検索
  - (4) 当財団ウェブサイトに掲載する調査報告書、セミナー動画等の閲覧
- 会費(年間):大企業36万円、中堅企業・地域金融機関24万円、中小企業12万円、個人6万円

## 海外投融資

Vol.23 No.4(通巻136号)  
2014年7月2日発行

発行  
一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人  
高岡 洋文  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北二丁目  
3番6号 九段北二丁目ビル  
TEL. 03-5210-3311(代)  
FAX. 03-5210-3456

制作協力  
(株)エディボック

\*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.  
©Japan Institute for Overseas Investment 2014  
Printed in Japan



●飛ぶ・寄る・入る

- A: "What is your best score?"  
B: "65"  
A: "That's great!"  
B: "...and the other half was..."

この冗談ではないが、最近ではハーフごとにエージシューターを目指す腕前の小生が、今回ゴルフについて書くことをお許しいただきたい。

ゴルフでスコアメイクの要はグリーンに近づいてからのショートゲームをうまくまとめることといわれるが、しばしば行く手を阻まれるのがバンカーである。このバンカーについて、小生はこれまで長い間、「パーをとりにくくするために設置されているハザードの一種」という単純な理解しかしてこなかった。しかし最近になり、実はゴルフ発祥とされるスコットランド東海岸のゴルフコースにおいて、ティーグラウンドやグリーンすらもなかった初期のころに、羊が海から吹きつける強風よけのために自分たちで掘ったバンカーだけは最初からコースに存在していたという話を聞き、1ゴルフファーとして己の無知を恥じるとともに、バンカーに対しより真摯に取り組む気持ちにさせられた。

とはいえ、ラウンドする機会も減った現在、バンカーショットの技を高めるのは容易ではない。そのとき近所のゴル



フショップで何気なく目にしたのがDERUNDA Vというサンドウエッジ(SW)である。クラブが赤く、軽量で、ソール(バウンス)部分に何やら模様の模様が彫ってある(ロフト角58度。写真)。ネーミングもわかりやすいが、何よりも「一発で出なかった場合は返品可能」とあるのに引かれた。値段も手ごろである。店員に聞けば、それはTOBUNDA(アルペン系)が出しているもので、アイアンの溝についての2010年基準にも適合しているとのこと。TOBUNDAのドライバーについては名前だけは知っていたが、そのほかにもYORUNDA(チッパー)やHAIRUNDA(パター)もラインナップとしてあると知り、直截的なネーミングにむしろメーカーの自信のほどがうかがえて頼もしく思えた。

当日、店頭でDERUNDAを求めたのはいうまでもない。その後何回かラウンドし、相変わらずその都度バンカーショットを打つことになったが、DERUNDAは返品されることなく13本目のクラブとしてバッグの定位置を占め続けている。次はYORUNDAを試してみたい。(調査部長 山本 拓)